

令和3年度 道徳教育総合支援事業 研究発表会 (R3.12.2)

みどり市立笠懸中学校

第1学年 主題名「情報モラルと友情」 B-8 友情、信頼
教材名「短文投稿サイトに友達の悪口を書く」と

(出典 新しい道徳 東京書籍)

ねらい 「お互いに信頼できる友人関係」についてGoogle Jamboardを用いた交流を通して、友達同士で忠告し合える信頼関係のよさを理解し、友達と心から信頼し合える関係を築こうとする道徳的実践意欲を高める。

【導入】本時のめあて

「友達と心から信頼し合える関係を築くために、大切なことは何だろうか？」

※友達について日頃考えていることを振り返りながら、本時のめあてを確認する。

- ・友達関係で、悩むことがある。
- ・一つのことで関係が崩れることもある。

【展開】補助発問

「コウタは（たいへんなことになるぞ）と思ったのに、どうして『うん、そうだね』と言ってしまったのだろうか。」

※人間の弱さに着目して、人間理解を深める。

- ・反対意見を言ったら、イチロウとの関係が崩れてしまう。
- ・言ったところで変わらないので、無駄になる。



【展開】中心発問

「もしも、あなたがコウタの立場だったら、イチロウに忠告することはできるだろうか。」

※「できる」「できない」「どちらともいえない」の3択で自分の考えを決め、思考ツールを活用して多様な考えを知り、交流する。

- ・「できる」→自分が後で後悔したくない。
- ・「できない」→嫌われてしまうかもしれない。
- ・「どちらともいえない」→本当に言えるか自信がない。



【展開】補助発問

「自分だったら（相手のことを思って忠告してくれる友達と自分を守って何も言えない友達）どちらの友達がほしいか。」

※視点を変えて、道徳的価値について多面的・多角的に考える。

- ・自分のことを思って言ってくれる友達がいい。
- ・言ってくれる方が信頼できる。



【終末】振り返り

「友達と心から信頼し合える人間関係を築くために、自分がこれから大切にしたいことはなんだろうか。」

※よりよい自己の考えや生き方への思いや願いを深める。

- ・一緒にいて楽しいのが友達だと思っていたけど時には、言いにくいことも言い合える友達関係をつくりたい。